

令和8年(2026年)9月8日(火)
(公財) 広島平和文化センター
平和文化企画課 鉤流(つりゅう)、岡上
電話: 242-8871 内線: 5810

第1回ユース・ピース・ボランティア専門研修の受講生等が平和記念資料館で対話イベント「ユース・ピース・ラウンジ」を開催します。

1 概要

令和8年6月に行った広島平和記念資料館の来館者アンケート調査等では、来館者が展示を見学した後、それを自分ごとである「ナラティブ(自身の体験を基に認識する物語)」として受け止めるために他者と感想を共有できる対話の場があることが望ましいとの声や、地元広島の若者との交流を望む声が見られました。

また、令和7年度に(公財)広島平和文化センターが広島の大学生を対象に実施した「第1回ユース・ピース・ボランティア専門研修」(以下「専門研修」という。)では、令和8年3月末に研修の成果として受講生が作成した核兵器廃絶に向けた提言の中で「若者が平和について気軽に話し合えるカフェイベントの実施」が項目の一つとして挙がるなど、広島の若者からも平和について意見交換できる場を望む声が寄せられていました。

このため、被爆の実相を深く学んだ来館者が、他者との対話を通じ、「平和のための行動」を行う動機を獲得してもらうことを目指して、専門研修の受講生が中心となって、来館者が、広島の若者(ユース・ピース・ボランティア)や被爆者と平和について話し合う対話イベント「ユース・ピース・ラウンジ」を開催しますので、ぜひ取材にお越しください。

なお、「ユース・ピース・ラウンジ」の実施状況については、令和8年9月28日の「広島市平和文化のまちづくり懇談会」で報告する予定です。

2 日時

令和8年9月12日(土)、13日(日)、19日(土)

各日の①午前11時～12時と②午後1時30分～2時30分

※ 12日と13日は英語で、19日は日本語で実施

3 場所

広島平和記念資料館東館1階「企画展示室」

4 参加者(各回)

- ・来館者: 定員20人(5グループに分かれ、各4人程度)

今回のイベントは「展示を見終わった来館者が広島の若者や被爆者と対話する」という趣旨で開催するため、当日来館者に対してイベントへの参加を呼びかけます。

(事前申込不要、先着順)

- ・ユース・ピース・ボランティア等: 15人程度(5グループに分かれ、各3人程度)

専門研修受講生とセンター職員がファシリテーターを務め、ユース・ピース・ボランティアとして活動する中学生、高校生、大学生が進行の補助や英語回の通訳(12日・13日)を務めます。

- ・被爆体験証言者(被爆者): 5人程度(5グループに分かれ、各1人程度)

5 内容（予定） ※ 全ての回を同じテーマで行います。

- ・ 専門研修受講生による趣旨の説明（3分）
- ・ 来館者の資料館を見学した感想等をグループごとに聞く（5分）
- ・ 対話テーマ「平和な世界を作るためのしくみを考える」に基づくグループワーク（50分）

6 取材

取材される方は、各回の開始10分前（午前10時50分または午後1時20分）までに会場へお越しください（会場内では係員の誘導等に基づき取材してください。）。

（参考）ユース・ピース・ボランティア専門研修等について

【ユース・ピース・ボランティアについて】

（公財）広島平和文化センターでは、国内外から来広される若い世代との交流等を通して、被爆の実相や平和の尊さを発信するとともに、平和を構築する人材を育成するため、ユース・ピース・ボランティア事業を実施しており、①核兵器の非人道性や平和の尊さを主体的・対話的に学ぶ「全国平和学習の集い」で全国のこどもたちと平和について語り合う「国内対応」（中学生及び高校生）と、②広島に来られる各国政府・国際機関関係者への英語での「ヒロシマの心」の発信や、広島で平和学習を行う国外の若い世代と意見交換・交流を行う「国外対応」（高校生及び大学生等）の2種類のユース・ピース・ボランティアが活動しています。

【ユース・ピース・ボランティア専門研修について】

また、センターにおいて、こうしたユース・ピース・ボランティアを始めとした若者が被爆の実相や核軍縮、国際関係論などの専門家による講義や討論を通して専門知識を習得し、それらを基に核兵器廃絶を進める力を身に付けていただきたいと考え、令和7年11月から令和8年3月まで、10名の広島の大学生を対象に「第1回ユース・ピース・ボランティア専門研修」を実施し、3月末に、受講生が被爆地の若者として核兵器廃絶を行うための提言をまとめました。

※ 令和8年度も来月末から12月にかけて第2回専門研修を実施予定です（詳細は別途プレスリリース等で御案内します。）。